



『制度先制！』

保険部 部長 藤岡 晃

意味不明かつ、何じゃこりゃ・・・のタイトルですね。少々我慢してお付き合いください。

北京の冬季オリンピックも終わり、少し春めいてきました。依然、新型コロナウイルスへの感染対策は続きますが、今後はウイズコロナ・ポストコロナへの時代へと変化していくことが予測されます。食事会が 4 人程度の流れになっているのはその象徴でしょう。私は職場の仲間から食事会のお誘いがめっきり減ってしまいましたが 5 人目の存在なのだろう！と思いながら過ごしています。

さて、我々は、効果的な作業療法を実践するために、時代の変化をより早く捉え、最適な形でクライアントへ還元していくことが求められます。より早く捉えるべき一つが報酬制度の変化であり、令和 4 年 4 月 1 日には診療報酬が改定されます。その改定情報ですが、厚労省の HP に掲載されますが、ひと昔前は文字だらけで、専門家向けの内容とも思われました。しかし、昨今はイラストを交えた見やすいものへと変化し、誰でも気軽に閲覧できるようになりました。この内容は、前年の秋頃を皮切りに、政策や改定の方向性、骨子や告示、そして個別改定項目（点数）へと、次第に明確化されます。

しかしながら、忙しい臨床業務の中、厚労省の HP へ改定情報を取りに行くことは大変な作業となります。そこで保険部では、改定に関する重要な内容を施設代表者メールへ配信し、代表者より会員の皆様へ改定情報をお届けさせていただき仕組みを作りました（施設代表者の皆様、お手数ですが部署内の皆様へ情報の伝達をよろしくお願いします）。メール本文の URL リンクをクリックすれば、所定の箇所が開けられるようにしております。是非ご活用いただき、令和 4 年は会員の皆様と共に、最新の制度情報が共有できる初年としたいと思います。

さて、ご周知のとおり 3 月 18 日には、保険部 Web 研修会として、令和 4 年 4 月 1 日の診療報酬改定の作業療法に関わる内容を中心に講義形式でお伝えする予定です。詳細は、県士会 HP の研修会・イベント情報よりご確認ください。次いで 3 月 22 日には、18 日の講義の録画配信を予定しております。皆様ともしっかりご準備いただき、万全の状態で 4 月 1 日をお迎えいただければ幸いです。診療報酬や介護報酬にかかわらず、制度は目まぐるしく変化しています。わが国は、古くからの風習や伝統、また古い物などを大切する国民性ですが、制度に限っては最新の情報に目を向けていくことが最善です。最後になりますが、岡山県作業療法士会は、**制度変化に先制**対応できる組織へと成長していくことを祈願しております。

＝ 目 次 ＝

p1	巻頭言
p2-3	事務局からの報告
p3-6	理事会報告
p6	研修会案内
p6-8	活動報告
p8-9	県士会活動奮闘記
p9-10	特集
P11	WEB 公開講座案内
P18	賛助会員一覧 編集後記

事務局からの報告

会員数報告

入会者 6 名 退会者 4 名 全会員数 1,176 名

重要 個人情報管理の変更について

会員の皆様の個人情報(一部の情報は除く)は H30 年 4 月 1 日より、日本作業療法士協会会員管理システムにて管理(1 本化) しています。詳細は岡山県作業療法士会ホームページ(会員向け情報・事務局) をご参照ください。

重要(お願い) 日本作業療法士協会の登録情報の確認について

日本作業療法士協会誌の事務局からの重要なお知らせに必ずお目通し下さい。登録情報は統計資料として非常に重要なデータとなります。また、岡山県作業療法士会としても H30 年 4 月 1 日より、個人情報の管理を 1 本化するにあたり、日本作業療法士協会の登録情報に誤りがある場合、発送物が届かなくなる可能性もございます。

重要 2018～2021 年度に入会した皆様へ(付帯情報登録のお願い)

会員情報(付帯情報)の入力が完了しておられない方は必ず登録をお願いします。
(日本作業療法士協会誌参照)

発送について

日本作業療法士協会の発送区分に従い送付する事となりますのでよろしくお願い致します。

会員情報の閲覧・更新方法

勤務先の異動や退職により自宅会員になられる場合など変更がありましたら、日本 OT 協会ホームページの会員ポータルサイトへログインし、閲覧・修正して下さい。

岡山県作業療法士会への入会について

入会申込書はホームページからダウンロードし、事務局まで郵送してください。

新人会員の方へ

新人会員の方はなるべく早く入会手続きを行ってください。また、所属施設において新人会員の方がいる場合は、お声かけをお願いいたします。

退会について

岡山県作業療法士会を退会される場合は、退会届をホームページからダウンロードし、必ず事務局まで退会届を郵送してください。

休会について

日本作業療法士協会を休会されると、自動的に県士会も休会になります。休会を希望される方は、日本作業療法士協会に問い合わせを行い、休会届をご請求ください。尚、県士会の方の休会はできませんので、ご了承ください。 ※詳細については、日本作業療法士協会のホームページをご参照ください。

年会費について

会員年会費: 10,000 円

新入会員: 11,000 円(年会費+県士会入会金 1,000 円)

原則、全会員が自動引き落としでの会費徴収となります。まだ、申し込みをされていない方は至急申し込みをお願いいたします。申し込み用紙を紛失された方は事務局までご連絡ください。

会員増加により会費の処理業務も大変ななっています。ご協力をお願いいたします。

※自動引き落としの申し込みをされていない方は至急入金をお願いします。定款規約第 10 条第 1 号の 3 項に基づき、2 年未納の方は除名になるおそれがありますのでご注意ください。

振込先 中国銀行 奉還町支店 普 1921671

一般社団法人 岡山県作業療法士会

代表理事 西出康晴

県士会主催研修会の申し込み及び参加費の納入方法について

県士会主催の研修会への参加申し込みはホームページ上からお願い致します。今年度より、研修会の参加費の徴収は Pass Market を使用いたします。詳細については、ホームページの研修会の案内を

ご参照下さい。

研修会参加費について

該当年度の会費未納者は研修会参加費が非会員扱いとなっています。

自動引き落とし申し込み済者は会員扱いとなります。研修会へ参加される 1 週間前の時点で入金を確認できない場合は、非会員扱いとなりますのでご注意ください。

事務局長：藤川 信 万成病院 県士会専用 TEL 086-256-2701
FAX 086-256-2702
E-mail okaot_jim@okayama-ot.or.jp

理事会報告

2021 年度第 4 回理事会抄録

日時：2021 年 10 月 21 日(木) 19:00～21:00

場所：岡山県作業療法士会事務局 Zoom システムによる Web 会議

○全会員数 1171 名 入会 16 名 退会 5 名 10 月 13 日現在

審議事項

◎会長

・施設代表者会議の開催を定例に加え臨時にて年に複数回開催したい。また、これまでの施設代表者会議に加え、組織強化委員会や調査部など、複数の部署で共同運営したい。→承認

◎事務局

・2022 年度岡山市訪問介護インセンティブ事業について、参加の継続を依頼したい。→承認
・日本作業療法士協会より特別表彰の候補者の推薦について →対象者がいればメールで審議する。
・サテライト事務員の慶弔禍福について、規約を作成したい。→承認。案を作成し、理事会で審議していく。

◎臨床実習指導者養成委員会

・第 2 回臨床実習指導者講習会（岡山講習会）について非会員も募集対象に加えたい。また、非会員の受講料を検討したい。→募集については承認。受講料については、研修会の運営は参加費のみで採算がとれておらず、現在県士会費から補填しているため、非会員について 7000 円で実施していく。

◎事業部

・ヘルプマークのアンケート結果を岡山県障害福祉課と共有したい。また、ヘルプマークのチラシをニュース送付時に同封または施設代表者メールでの配信で、啓蒙活動を進めていきたい。→承認

◎地域包括ケア推進委員会

・11 月 20 日開催の協会研修会（Web 研修）に、前回と同様の 5 名を参加者として推薦したい。→承認
・研修会の講師の講演を、後日録画配信した場合の謝金規定について。→謝金規定をベースに案を作成し、今後検討していく。

◎子ども地域支援委員会

・笠岡市 OT コンサル事業について、感染症流行の

状況が改善されてきているため、現地訪問を実施していきたい。→感染対策について具体的な方法を挙げ、メールで再検討する。

◎学術部

○学会サポート委員会

・第 34 回岡山県作業療法学会の日程について。→3 月 13 日に開催決定。

◎保険部

・アンケートの調査方法について、最近ではアンケートに Google フォームを使用するケースが多いが、回収率が低いと良い案がないか意見をきかせてほしい。→複数回呼び掛ける、研修案内に QR コードをつける、部員に声をかけてもらうなどの意見あり。調査部と協力し、検討していく。

◎後援依頼

・中国医療情報技師会主催、「第 5 回中国医療情報技師会研修会」の後援、岡山リハビリテーション講習会実行委員会主催「岡山リハビリテーション講習会（高次脳機能障害）」の後援→すべて承認

報告事項

◎西出会長

・活動報告（他団体等）
・第 7 回岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会（2023 年度）の担当団体（PT/OT/ST）のため、各部署協力をお願いしたい。
・部会課題の進捗状況の確認。

◎事務局

・2022 年度事業計画と予算について 12 月末までに事務局まで提出。

◎中国地区作業療法士会合同研修会

・研修会打ち合わせの報告。

◎教育部

・9 月 15 日【緊急】手帳移行申請のための説明会、相談会開催 参加者 25 名

- ・10 月 31 日現職者共通研修（Web 研修）開催予定
- ・12 月 5 日 現職者選択研修（Web 研修）開催予定「精神障害領域の作業療法」

◎事業部

- ・ヘルプマークについてのアンケート調査は、75 施設、234 名から回答があった。
- ・岡山県介護支援専門員協会との合同研修会開催予定。

◎学術部

○身体障害部門

- ・研修会（Web 研修）開催予定 開催日は未定。

○学会準備サポート委員会

- ・第 34 回岡山県作業療法学会（Web 学会）運営本部は津山市内レンタルスペース「インセクト」で検討中。テーマは「作業療法でみんなを明るく」。演題について、発表形式は VOD（口述発表のみ）。
- ・第 35 回岡山県作業療法学会学会長の公募については、HP に公募について掲載予定。

○学術誌編集部門

- ・第 31 巻の進捗状況について
- ・電子化に向けた進捗状況について

○老年期部門

- ・1 月 23 日研修会（Web 研修会）開催予定

○精神障害部門

- ・2 月 27 日研修会（Web 研修会）開催予定

◎地域包括ケア推進委員会

- マップ班・地域支援事業に参加可能な人材の名簿の整理が完了。

- 広報班・岡山県作業療法士会 HP リニューアルの際に地域支援事業に関する資料等を会員に提供できるよう資料を作成中。

○岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

- ・10 月 10 日スタートアップ研修開催。参加者は 54 名。（内、会員は 24 名）

○OT 協会

- ・11 月 20 日 Web 会議開催予定。

◎3 委員会合同委員会

- ・サロン活動で活躍をしたことのある先生に資料の提供を呼びかけ。
- ・地域ケア個別会議で助言をするうえで、思考を整理できるツールを作成中。

◎広報部

- ・ホームページリニューアル進捗状況について

○ニュース発行部門

- ・県士会ニュース冬号 12 月発行予定。

○OT アピール部門

- ・9 月 25 日、山陽新聞広告記事が掲載された。「分かりやすい」、「今回は、見やすくて分かりやすくてよかった」などの感想がきかれている。

◎MTDLP 普及推進委員会

- ・10 月 3 日 MTDLP 第 1 回事例検討会開催（Web 開催）発表者 4 名 聴講者 17 名

◎子ども地域支援委員会

- ・笠岡市 OT コンサル事業について
- ・岡山市学童保育連絡協議会の研修会について
- ・11 月 10 日研修会開催予定・2 月 16 日 第 2 回研修会開催予定
- ・3 月 9 日 情報交換会開催予定・市町村へのアプローチ

◎認知症支援委員会

- ・アンケート調査について
- ・12 月 12 日認知症作業療法アップデート研修開催予定。

◎保険部

- ・3 月 18 日研修会（Web 研修会）開催予定
- ・部意見交換会を情報交換会に名称を変更した。

次回理事会 12 月 16 日

2021 年度第 5 回理事会抄録

日時：2021 年 12 月 16 日（木） 19：00～21：00

場所：岡山県作業療法士会事務局 Zoom システムによる Web 会議

○全会員数 1175 名 入会 6 名 退会 2 名 12 月 6 日現在

審議事項

◎会長

- ・2022 年度事業計画の策定について、県士会の Mission、Vision、Value について整理した。重点課題を挙げてほしい。→1 月の理事会で意見を出し合い、検討していく。
- ・農福連携への支援の相談があったため、相談窓口を設置し対応していきたい。→承認
- ・職能団体の政治活動に関する意見交換会に参加したい。→承認

- ・第 7 回岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会の実行委員会の設立のため、人選を行いたい。→立候補する方は今年中に会長まで連絡。

◎事務局

- ・サテライト事務所従業員の慶弔規定（案）を作成。→承認
- ・わいわい研究会から寄付の申し出があった。→承認
- ・岡山県医師会 岡山県国民医療、介護推進協議会における決議の採択について。→承諾

◎後援依頼

- ・「回復期リハビリテーション病棟協会第 41 回研

究大会in岡山」・グリーン在宅クリニック主催、「がんをしぶとく生きる、気い楽に」の後援→すべて承認

◎施設代表者会議

・「支部制」の導入を検討したい。導入は 2023 年度 4 月とする。支部制の運用が完了した時点で施設代表者会議は解散する。→承認

◎広報部

・HP リニューアルについて、CODE54 との作成打ち合わせに参加頂く部会を審議したい。→学術部（太田理事）、事業部（古澤理事）、地域包括推進委員会（酒井理事）が参加。

○広報部アピール部門

・県士会のリーフレットについて、シールで修正し在庫を使用していきたい。→承認
・ビブスの制作について検討したい。→見積もりをとり、1 月の理事会で再検討する。

◎事業部

・障がい者の移動支援（JR）に関する意識調査のアンケート内容の確認と実施を検討したい。→承認
・（一社）岡山県指定自動車教習所協会との「高次脳機能障害者及び身体障害者の自動車運転練習等の実施に伴う協定書」の締結について、協定を進めていきたい。→承認
・株式会社アークリードが運営する「アメポケ」の HP に、当士会のバナー設置についての依頼があった。当士会の賛助会員も希望されている。→承認
賛助会員については、案内を送付済み。

◎地域包括ケア推進委員会

・協会-士会連携、士会間連携の推進から、来年度もブロック会議が年 4～5 回開催予定。会議費を計上したい。→承認

◎学術部

○学術誌編集部門

・電子化については論文のみとし、HP には過去 10 年分を掲載したい。→過去 10 年分の論文の電子化については承認。県士会HPへの掲載は見送る。

◎訪問リハビリテーション振興委員会

・POS 三士会合同での研修会開催を行っているが、今後作業療法士会のバスマーケットを使用する事は可能か検討したい。→承認

◎組織強化委員会

・支部分けと並行して人材バンクを設置する方向で検討していたが、まずは人材バンクのみの設置を行う方向で進めたい。県士会員に登録してもらうために、登録フォームを作成し、案内・募集したい。→承認

報告事項

◎会長

・活動報告（他団体等）。
・鳥取県士会の広報誌における著作権のトラブル

の件

◎事務局

・2022 年度事業計画と予算について、12 月末までに事務局まで提出。

◎中国地区作業療法士会合同研修会

・オープン研修では、参加者 98 名、アンケート回収率は 51.0%（50 名）であった。概ね好評の感想等を多くいただいた。

◎教育部

・12 月 5 日現職者選択研修開催（精神障害の作業療法）
・2 月 6 日第 3 回現職者共通研修（Web 研修会）開催予定

◎MTDLP 普及推進委員会

・11 月 28 日 MTDLP 指導者養成勉強会（Web 研修会）開催

◎子ども地域支援委員会

・笠岡市 OT コンサル事業については、感染対策の説明会を開催した。
・2 月 16 日 研修会開催予定
・3 月 8 日 情報交換会開催予定
・育成 OT の選出の順番としては、研修会参加の合計時間の多い OT から新たに声を掛ける。
・来年度の活動については、研修会を 2 回、情報交換会を 1 回開催予定。市町村への OT 活用の広報時期は 5 月頃。
・2020 年度 笠岡市作業療法士派遣委託事業「オンラインコンサルの感想について」

◎臨床実習指導者養成委員会

・11 月 27 日、28 日第 1 回臨床実習指導者講習会（岡山講習会）
・第 2 回臨床実習指導者講習会（岡山講習会）の申し込み状況

◎事業部

○移動支援班研修会について

・1 月 30 日研修会開催予定 テーマは医療と地域を繋ぐ移動支援「脳卒中患者の自動車運転に対する関わり（基礎編）」。

◎学術部

○身体障害部門

・2 月 27 日研修会（Web 研修会）開催予定。○学会準備サポート委員会

・3 月 13 日第 34 回岡山県作業療法学会（Web 学会）開催予定。基調講演、シンポジウム、講演等の講師やテーマを決定。

○学術誌編集部門

・第 31 巻の進捗状況について
・第 32 巻について特集内容（案）としては、テーマ「With コロナ時代の作業療法（仮）」として、領域と執筆依頼者の検討中。
・電子化に向けた進捗状況

○精神障害部門

・2月27日 研修会（Web 研修会）開催予定

◎広報部

・ホームページリニューアルについて、制作会社はCODE54に決定。12月10日契約締結した。

○ニュース発行部門

・県士会ニュース冬号は12月15日発行。

○OT アピール部門

・著作権フリーの素材の利用について、当士会でも新聞広告を出した際フリー素材のイラストを使用していたが、山陽新聞社に確認したところ問題ないとの回答が得られた。

◎認知症支援委員会

・アンケート結果をじゃーじゃー岡山に掲載予定であるが、全ての結果を掲載できないため、作業療法おかやまへ投稿する。

・追加アンケートについては、地域で認知症支援に参加している会員（30名程度）に対してアンケートを送信し、現在6名の回答があった。

・広報活動について、個別ケア会議や市町村の総合事業へ参加した際には、認知症支援委員会のリーフレットを配布している。

・2月20日 GP 報告会開催予定

◎地域包括ケア推進委員会

○研修班

・3月20日 研修会開催予定

○岡山県リハビリテーション専門職団体連絡会

・地域連絡会を各ブロックに分かれて開催を実施また計画中。

○OT 協会

・11月20日に第2回Web研修会が終了。全国のOTが関わっている総合事業の通所型サービスC（短期集中予防サービス）の事例発表。

◎3委員会合同委員会

・サロン活動で活躍をしたことのある先生に資料の提供をいただき、DROP BOXで管理を開始。今後は、県士会で参考資料を作成し、会員が活用できるようにしていく。

◎訪問リハビリテーション振興委員会

・訪問リハビリテーション実務者研修会を、2月20日、3月6日で検討中。他県士会の日程確認待ち。

◎調査部

・2021年度の課題と具体的活動については、他部会・委員会との連携不足。今後は調査依頼があった場合、Web調査であれば調査部が調査フォームやQRコードを作成し集計、郵送の調査であれば事務局とも連携し実施していく。

次回理事会 1月20日

研修会案内

WEB 公開講座のお知らせ

令和3年度WEB公開講座は令和4年3月31日まで動画を配信しています。まだご覧になっていない会員の方は、ぜひご視聴ください。ご対象者様、そのご家族様にもご紹介いただけると幸いです。

詳細は11ページのチラシをご参照ください。

事業部 部長 古澤 潤一（水永リハビリテーション病院）

岡山県作業療法士会 新人歓迎研修会・総会

開催日：令和4年6月11日（土） 詳細はHPにてご確認ください。

活動報告

学術部発達障害部門研修会

令和3年12月12日（日）10:00～12:00に堺市立重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかいの松本茂樹先生（作業療法士）をお招きして、『重症心身障害児・者への作業療法士による生活支援の工夫と関わり方』というテーマでご講演頂きました。参加者は岡山県作業療法士会員22名、中国地区4県士会員6名、県外会員10名、他職種1名、非会員1名で合計40名の参加でした。

学術部発達障害部門 副部長 森川芳彦（川崎リハビリテーション学院）

<参加者の感想>

小児のリハビリを始めたばかりでまだ重症心身障害児、重症心身障害者の方と関わるのが少なくイメ

ージがなかなかしにくかったのですが、具体的な関わり方や生活支援の考え方などを知ることができとても勉強になりました。ありがとうございました。

川上萌々（川崎医科大学附属病院）

令和 3 年度 MTDL P 指導者養成勉強会

参加者は 7 名で開催しました。毎年指導者勉強会は 10 名前後の参加となっています。指導者を目指す方、今後の参考に参加された方、認定作業療法士を目指す方々々々と思います。2 時間という短い時間でありましたが、指導者養成勉強会の MTDL P の内容は普段の臨床でも必ず役に立つ OT が持っておきたい重要な視点が詰まっています。ぜひまだ未受講の方は来年度ぜひご参加いただき、今後の方向性を考える機会としていただければ幸いです。まだまだ県内での指導者は不足していますので、推進にご協力お願いいたします。

MTDL P 普及推進委員会 委員長 米井 浩太郎（老人保健施設 虹）

中国地区作業療法士会合同研修会

昨年度は COVID-19 の影響で中止した「中国地区作業療法士会合同研修会」を、今年度はリモート研修として中国地区作業療法士会の会員の皆さまを対象に岡山県士会主催にて 11 月 21 日（日）に開催しました。本研修会の趣旨は、明日の士会活動を担う人材を中国地区 5 士会で協力して育成していくことにあります。研修会はクローズド研修とオープン研修で構成されています。

クローズド研修はグループワークのテーマごとに担当理事 1 名と士会推薦会員 1-2 名が参加し、各士会の状況や課題を共有し、今後の士会運営に反映させていきます。今年度のテーマは①事務局活動について（11 名）、②広報活動（HP・ニュース）について（10 名）、③地域ケア会議への参画について（10 名）、④自動車運転への取り組みについて（11 名）、⑤臨床実習指導者講習について（11 名）、でした。

オープン研修は、講師に斉藤尚志先生（株式会社 CDL キャリアデザイン研究所）をお招きし「自律的キャリア形成について」ご講演をしていただきました。参加者は 5 士会で 98 名でした。

次年度は鳥取県士会の主催で開催予定です。ご興味のある方はお近くの理事または事務局までお問い合わせください。

副会長 妹尾勝利（川崎医療福祉大学）

学術部老年期部門研修会 「多職種で関わる排泄支援」

1 月 23 日（日）に学術部老年期部門研修会（web）「多職種で関わる排泄支援」を開催しました。講師は、薬剤師の寺井竜平先生、作業療法士の米井浩太郎先生に“排泄”について、機能解剖から多職種連携についてご講義頂きました。県内外から 20 名ご参加頂き、講義、グループワークを通じて、日頃の悩みや工夫を共有する機会が持てました。次回も OT の視野を広げられる研修会を企画します。ぜひご参加ください。

学術部老年期部門 副部長 牧 卓史（さとう記念病院）

<参加者の感想>

今回、薬剤師の寺井先生、作業療法士の米井先生から各専門職種の視点から排泄支援に関する研修会がありました。排泄は、クライアントが自宅退院する上で、非常に重要な位置づけになっていると考えています。研修会では、事例を交えながら排泄障害がある原因を解剖・生理学的な視点や薬剤からの影響などから考える必要性を感じました。普段の臨床ではなかなか薬剤師の方と接する機会は少ないですが、今回学んだ『リハ薬剤』の観点から相談できる機会を設けていきたいと思いました。

石井 将人（倉敷平成病院）

事業部研修会

「医療と地域を繋ぐ移動支援～脳卒中患者の自動車運転に対する関わり（基礎編）」

本研修会では、「自動車運転支援を行う上で押さえておくべき基本的な知識」を運転と作業療法委員会岡山県協力者（倉敷市民病院）の酒井先生にお話をいただきました。また、病期別（急性期～回復期）に応じた自動車運転支援について、岡山県内で精力的に支援を行っている柿元先生（津山中央病院）、中野先生・中尾先生（済生会吉備病院）、小坂先生（しげい病院）にお話をいただきました。日々の臨床において、自動車運転を希望される対象者を担当する際、「関わった方が良いと思うけど、どう関わればよいのか分からない」と感じる経験をした先生も多いのではないのでしょうか。本研修会で得られた知識は、対象者にすぐに還元できる有益な情報として学ぶことができたと思います。また、ここ数年で運転支援の体制を構築された施設の取り組みについて知ることができ、岡山県内の運転支援の広がりを熱く感じることもできました。

事業部移動支援班としては、岡山県内の各地域で多職種および OT 同士の繋がり作りを目指し、支援体制を構築していきたいと考えています。来年度は、より実践的なことを学べる応用研修会を企画して参ります。是非ご参加のほどよろしくお願いいたします。

事業部 副部長 山本昌和（岡山旭東病院）

県士会活動奮闘記

子ども地域支援委員会 『6 年間の活動と今後について』

岡山県作業療法士会（以下、県士会）が放課後児童クラブ（以下、児童クラブ）に作業療法士（以下、OT）を派遣するようになってから今年で 6 年目になりました。児童クラブは、放課後に児童を預かる場所ですが、単なる預かりではなく、児童が遊び、生活する場であり、児童の成長を促す場でもあります。その児童クラブには、発達の気になる子どもさんも在籍しており、指導員はどのように対応すればよいのか、日々悩んでおられます。この事業は、岡山県学童保育連絡協議会から依頼を受け、備中県民局などの助成金を利用して、2016 年度から 2019 年度まで続けました。2020 年度以降は、笠岡市が施策化し、2021 年度も継続しています。2019 年度までは、学術部発達障害部門の中の学童保育支援委員会がその役割を担っていましたが、2020 年度以降、児童クラブに加え、保育園・幼稚園、学校、子育て支援の団体など、地域からの要望に応えられるようにという意味を込めて「子ども地域支援委員会」という名称に変更し、現在、特設委員会として活動をしています。

これまで県士会が派遣した県内のクラブ数は、2016 年度から 2020 年度までで、のべ 71 クラブ、事業に参加した OT はのべ 156 名になりま



す。改めてこの数を見ると、たくさん派遣してきたなと感じます。ここまでの実績を積むことができたのは、参加した OT のご協力の賜物であると感じています。この紙面をお借りして感謝の意を表します。OT の派遣に当たって特に重要になるのが、「人材育成」であると思います。委員会では、「座学+OJT」というシステムにて人材育成をしています。座学では、発達領域における地域支援に関する研修会を開催し、知識を習得することを目的に毎年 2 回程度開催しています。OJT では、育成対象の OT は、臨床経験のある OT に同行して、コンサルテーションの場面を経験して

もらっています。そのような体制の中で OT が地域支援において大切なことは何かについて学んでもらうようにしています。

2018 年度には 30 クラブに OT を派遣していましたが、その年に備中県民局などの助成金が終了し、その後、派遣できる児童クラブ数は減少し、2020 年度には 6 クラブとなってしまいました。



県士会研修会

した。今後の課題は、大きく 2 つあります。1 つは「広報活動」です。これまでの派遣実績からみても、事業に協力して頂ける OT が多数おられることが分かりました。しかし、現在、地域からの派遣依頼が少ない状況です。これに対して OT が地域で何ができるのかのアピールが必要であると考えています。市町村や子育て支援団体などから研修会の講師の依頼を頂けるように広報活動に力を入れて行きたいと考えています。もう 1 つはやはり「人材育成」です。地域に一人で出て、活動できる OT が少ない状況です。先述のシステムがベストであるとは考えておらず、他府県士会の情報を集めたり、情報交換会を開催するなどし、会員からの意見を聞きながらより良きシステムを構築していきたいと考えています。引き続き、会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

子ども地域支援委員会 委員長 森川芳彦

特 集

『新型コロナウイルス感染症患者に対する作業療法について』 ～最前線で活躍する若手作業療法士の奮闘記～

2022 年 1 月現在、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ感染症）が猛威を振るい、制限の多い中での生活が余儀なくされている。そんな中、コロナ感染症患者に対して、呼吸器合併症の予防や ADL 拡大を目的に日々奮闘している作業療法士がいる。今回、川崎医科大学附属病院でコロナ感染症患者を対応している、竹原脩一郎先生にコロナ感染症患者に対する作業療法の取り組みの様子をお聞きした。

Q:「今日は宜しくお願いします。竹原先生は、作業療法士 7 年目で、普段は救命救急病棟でご活躍されているとお聞きしました。通常業務では、どんな患者さんを担当されているのでしょうか？」

竹原先生:「宜しくお願いします。通常業務では、救命救急病棟で、交通外傷や頭部外傷、脊髄損傷、重度熱傷、敗血症などの重症感染症の患者さんに対して作業療法を行っています。また、週 1 回の救命救急病棟の多職種カンファレンスに参加して、患者さんの病棟 ADL や機能予後、生活背景を踏まえての転帰先の判断などの情報を発信しています。」



Q:「そんな中、2019 年 12 月にコロナ感染症が世界的なパンデミックに発展し、国内でも流行が始まりました。岡山県では 2020 年 3 月頃より流行が始まり、それ以降は、コロナ感染症の患者さんの対応が始まったと思うのですが、どのような対応をされているのでしょうか？」

竹原先生：「私は 2021 年の 1 月からコロナ感染症チームに入りました。当院では、2020 年 3 月からコロナ感染症チームを結成してチームでの対応を行っています。チーム構成は、リハビリテーション科医師 1 名、理学療法士 5 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 2 名の計 12 名で 3 チーム構成して対応しています。」

Q：「患者さんへの介入頻度はどのくらいですか？」

竹原先生：「入院患者さんが多い時は、それぞれのチームが 1 週間ごとに交代して、患者さんの重症度に応じて必要なスタッフを振り分けて、1 対 1 での作業療法を実施しています。1 人につき 1 日 1 部門、時間は 1 回 20 分～40 分間で、週 5 回実施しています。」

Q：「コロナ感染症患者さんに対してどんな内容の作業療法を実施していますか？」

竹原先生：「ADL 拡大を目的に、一般的な呼吸器疾患（間質性肺炎や COPD など）の患者さんに行う ADL 指導を行っています。具体的には、①呼吸と同調して動作を行う、②息まないような動作方法の指導、③上肢挙上位とならないような方法などを指導しています。」

また、高齢な患者さんが多いため、せん妄や認知機能低下が進まないよう工夫しています。個室管理でネット環境が整っているため、Skype で家族と TV 電話をしたり、YouTube を使って好きな演歌や映像を流しながら過ごしてもらっています。また、可能な限り転倒が防げるようなベッド周囲の環境調整を行っています。あとは、病棟での自主練習も部屋にメニューを貼って積極的に取り入れています。」

Q：「コロナ感染症患者さんに対応する際には、どのようなことに注意しながら関わっていますか？」

竹原先生：「自分が感染しないこと、そして、他患に感染させないことを一番に考えながら関わっています。そのため、チームに配属した際には、PPE（個人防護具）として、N95 マスク、ゴーグル、ガウン、エプロン、グローブ、キャップの着用訓練も行いました（右図）。また、PPE を装着すると再度着脱するのに時間もかかるため、事前にその日、作業療法を行う患者さんの清拭などのケアの時間を情報収集して、時間と重ならないような予約調整も注意して行っています。」



Q：「コロナ感染症患者さんに作業療法を行う時の難しさはどんなところですか？」

竹原先生：「普段、作業療法で使用するような物品が使えないところです。そのため、作業活動などでは、使い切りが出来るような、折り紙や塗り絵などを選択して離床時間の延長を図っています。トイレでの立ち上がりが難しい患者さんには、使い捨て出来るように、お風呂のマットを切り取って補高便座を作りました。また、個室管理で隔離されているため、歩行など有酸素運動での運動量の確保が難しいです。入院前の活動性が高くない患者さんの場合は、個室内での運動で循環応答や酸素化の評価は可能ですが、復職も見据えるような活動量の高い方については、運動時の循環応答や酸素化の評価が難しく、判断に難渋しました。部屋の中でしか訓練が行えないので・・・。」

色々介入していて難しさはあるのですが、何より、入院した患者さんが元気に元の ADL まで回復出来て、自宅に退院できる姿を見ると、作業療法士として関わらせていただいて良かったと思います。早くコロナ感染症が収束して、日々の日常が取り戻せることを願っています。」

第 6 波は岡山県内の感染者数が過去最多となり、私たち作業療法士はまだまだコロナ感染症と向き合い続ける状況が続きます。今回のインタビュー内容のコロナ感染症患者への対応は一例ですが、病院、施設、在宅で患者さんや利用者さんがより良い生活を送ることができるよう、会員皆様のご参考になれば幸いです。

広報部 吉村 学（川崎医療福祉大学）

(一社)岡山県作業療法士会主催

令和3年度



WEB公開講座(動画配信)



日頃から、(一社)岡山県作業療法士会の活動につきましてご理解、ご協力を賜りありがとうございます。
毎年開催しています公開講座を、今年度は動画配信で一般の方々を対象に開催いたします。
作業療法士が活動する分野から、以下のテーマを無料配信いたします。

配信期間：令和3年11月1日(月)～令和4年3月31日(木)



テーマ
1

『発達が気になる子どもへの遊びの工夫』～作業療法士の視点～

講師：(一社)岡山県作業療法士会 理事 森川芳彦 氏
専門学校 川崎リハビリテーション学院 作業療法学科



作業療法士が発達の気になる子どもを臨床の場でみているのをご存じですか？
そのような子どもはよりよく遊ぶことができていないことがあります。
今回は発達の気になる子どもが上手に遊べない原因や遊びの支援について作業療法士の視点で
お話しさせていただきます。

『認知症の人と共に生きていくということ』～作業療法士の視点～

講師：(一社)岡山県作業療法士会 理事 大森大輔 氏
北川病院 作業療法士

テーマ
2

認知症の人や家族が安心して暮らせる地域を築出し、皆がお互いさまの精神をもって共生することが
求められています。
今回は、認知症の理解と相談窓口等の紹介、また、認知症の人が安心して生活を送るための
コツを作業療法士の視点からお伝えします。



テーマ
3

『作業療法の紹介』

担当：(一社)岡山県作業療法士会 事業部



リハビリテーションの専門家、作業療法士。聞き馴染みのない仕事かもしれませんが、実はあなたの
そばに作業療法はあるかもしれません。
日々の関わりごとについて、医療や保健、福祉などの観点から支援する作業療法について紹介します。

●視聴方法●

スマートフォン・タブレットの方は、視聴されたいテーマのQRコードを読み取り、ご視聴ください。
パソコンから視聴される方は、岡山県作業療法士会のホームページの最新情報から「WEB公開講座のご案内」をクリックし、ご視聴されたいテーマの
URLからご視聴ください。
動画配信サイト「アメボケ」からもご視聴いただけます。いずれも費用は無料で、事前申し込みも必要ありません。

■WEB公開講座に関するお問合せ

(一社)岡山県作業療法士会 事業部 公開講座班 (担当：井上) Email:koukaikouza.ot@gmail.com



一般社団法人 岡山県作業療法士会
OKAYAMA Association of Occupational Therapists



アメボケ
http://ameboke.jp/tp

視聴は10分
ご観覧ください



賛助会員一覧

A 会員

吉備国際大学 作業療法学科
医療法人 万成病院
橋本義肢製作株式会社
株式会社 アール・ケア
株式会社 リスコ

訪問看護ステーション タウンサークル
株式会社 創心會
就労移行支援 ハートスイッチ
オージー技研株式会社

B 会員

株式会社 舟木義肢
株式会社 オアシスジャパン
東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所

ノーイン株式会社
株式会社 アークリード

岡山県作業療法士会ホームページ

<http://www.okayama-ot.or.jp>

最新情報・研修会詳細などは、ホームページをご覧ください。



ご意見を聞かせてください

広報誌春号はいかがでしたでしょうか？

右の QR コードより、アンケートのご記入やご意見をお願いいたします。

より良い広報誌の作成に活用させていただきます。



◇編集後記

研修会の受講や会議などの参加の仕方で、「リモート (Zoom)」というものがすっかり定着しつつあります。自宅や職場で参加できる分、これまでよりも参加しやすい研修会や、参加しやすい方々が増えてきたのではないのでしょうか。新型コロナ流行により、皮肉にもそういったシステムの普及が早まることとなり、世界的にも人々のコミュニケーションが発展してきたことは確かです。病気がまん延しないに越したことはありませんが、新しい生活様式を余儀なくされる中で、「良いこともあるんだ！」と、半ば強引にポジティブ思考にすることもあります。例えば、コロナ禍で感染対策が徹底されたことで、インフルエンザはほとんど抑えることができています。また飲食の「テイクアウト」は、飲食店の方々が厳しい営業状況の中で様々なアイデアを生み出してくれています。ステイホームで趣味を開拓された方もいるでしょう。コロナ収束のその日まで、前向きな気持ちを持ち続けていきたいですね。

今号のニュースも最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

(T.N)

一般社団法人岡山県作業療法士会ニュース 年 4 回発行 (6、9、12、3 月)

◇求人広告 1/4 頁 2500 円 1/2 頁 5000 円 (詳細は HP もしくは広報部 杉本まで)

発行人：西出康晴

発行所：〒700-0071 岡山県岡山市北区谷万成 1-6-5 万成病院内 一般社団法人岡山県作業療法士会事務局

TEL 086-256-2701 FAX 086-256-2702

印刷：ノーイン株式会社

投稿先：〒702-8053 岡山市南区築港栄町 2-13 佐藤病院 杉本 努

TEL 086-263-6622 FAX 086-264-6769 E-mail okaotnews@hotmail.com

一般社団法人 岡山県作業療法士会

令和 4 年 1 月 31 日現在

会員数 1,176 名